

大好き！絵本

初瀬 恵美



『ばばばあちゃんの
アイス・パーティー』
文・絵:さとう わきこ
出版社:福音館書店

地震に続き、大雨が降り、土砂災害の心配な日々が続きました。大雨が終わったかと思うと、とたんに真夏のような暑さがやってきました。こんな暑いときは思わず「あついねえ おひさまで からだごとけちゃいそうだよ。」という絵本のワンフレーズが浮かびます。今月はそんなワンフレーズがのっている『ばばばあちゃんのアイス・パーティー』を紹介したいと思います。

ところでみなさん、「ばばばあちゃん」ってご存知ですか？おだんご頭に赤いスカーフがトレードマークのおばあちゃん。私のイメージでは、チャキチャキ江戸っ子で、いつまでも子ども心を忘れない、子どものリーダーのような存在です。シリーズ化もされ、子ども達に大人気です。

そのばばばあちゃん、「からだごとけちゃいそう」な暑い日に何か涼しくなる方法はないかと考えます。そして、思いついたのが子どもたちと「**こおりの おかしをつかってアイス・パーティーをしよう**」という事でした。「アイス・パーティー」って言葉は、なんと子ども心をくすぐる響きでしょう。その言葉だけで、子どもたちの心は一気に暑さを忘れ「ワクワク」に変わります。「いれものに いれてなんでも こおらせればいいんだよ。さあ、好きなものをもってきて こおらせてごらん」そういって、ばばばあちゃんに、子どもたちはいろいろなものをもってきます。お菓子、ジュース、ミニカーに人形などなど・・・（笑）絵本だから笑える場面ですし、「あー、凍らせたいって思う子もいるよね。」と笑いをさそいます。“凍らせたらどうなるんだろう”そんな子どもの好奇心を、ばばばあちゃんはいつも「**そいつは おもしろいねえ**」と受け止めて一緒に楽しんでくれる存在なのも素敵です。さらに「りんごは すって レモンじるを まぜてから こおらせるといろが かわらないよ。」と知恵を伝えたり、「いろいろなはなを ちゃづつや ポウルにいれて こおらせてみようね。」など、提案してみたり、子ども達が思いつかないことをさりげなく、遊びに織り交ぜていきます。そんな姿が尊敬できるところでもあります。

今月は保育園でもつくしさんを中心に「アイス・パーティー」を楽しみたいと思います！

